

園だより 10月

令和6年9月30日
台東区立田原幼稚園
TEL3842-6477



「わくわく」しながら

副園長 松井 景子

毎年9月中旬から園庭にはたくさんのトンボが飛んでいます、今年は厳しい暑さが続いているせいでしょうか、なかなか出会えません。

しかし、毎日園庭では、虫探しにじっくり取り組んでいる姿が見られます。そしてその横では田原小学校の運動会に向けての活動の様子が毎日見られます。カッコいい音楽や力強く走る姿、フラッグやバチなどを持って踊る姿から、憧れや刺激をたくさんもらっています。田原幼稚園では夏休み明けに、園舎の至る所にオリンピックの様々な競技の新聞記事を掲示しました。「僕も見た」「これやってみたい」など様々声が出ました。そこから年長児ばら組が「自分たちもオリンピックをしたい」ということから、『田原幼稚園でオリンピックをするプロジェクト』が動きだしました。もも組うめ組にも一緒にやらないかと声をかけ「観客席もいっぱいがいい」とおうちの方や地域の方にも見に来てもらいたいとなり、「明後日だと、お母さん仕事だから来られないな」「小学校のお兄さんお姉さんたちが使わない日じゃないとだめだ」等、どんどん意見が出て、園長先生にやりたいことや、校庭が使える日を相談しに行きました。すると「10月19日(土)ならできる!」と決まりました。

もちろん、先生方は計画的に運動遊びが十分経験できるよう、学年に応じて様々な方向で進めてきましたが、子供たちから湧いてきた「やりたい」「こうしたい」を形にしていきながら進めております。子供たちの思いの詰まったプログラムも、もうすぐお届けします。

子供たちは日々わくわく遊んでいます。「わくわく」は「湧く湧く」であり、その語源は水などが地中から出てくるさまや、物事が急に現れるさまにあります。コンコンと尽きることなく湧き出る泉をイメージしてください。水は一つに留まることなく、常に新鮮で勢いがあります。それが転じてどっどっ心の中から溢れてくる状態を表す言葉になったそうです。

まさに、次々とやりたいことが湧き出て、主体的に取り組んでいる子供たちは「わくわく」しながら取り組んでいる姿と言えます。また、その子供たちがどう成長しているか、そのわくわくをどう支えるかということ、を教職員は話し合いながら、わくわくしております。

ご家庭の皆様、ご来賓の皆様どうぞ、田原幼稚園の子供たちがわくわく、生き生きしながら取り組んでいる姿にたくさんのエールを送っていただき、また一緒にわくわく楽しんでいただけたら幸いです。お待ちしております。

